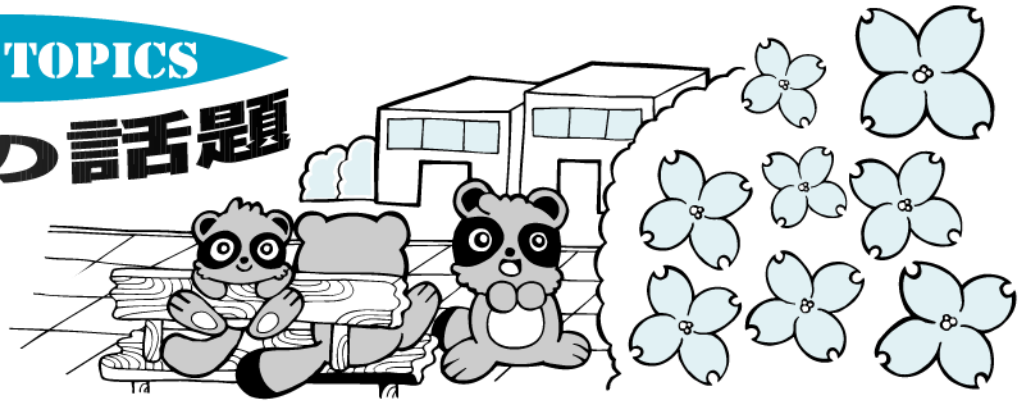


# まちの話題

●身近で楽しい話題、明るい話題待っています。

広報こまつしま  
電話 32-3812



横山さんを囲みお礼の阿波踊りを披露する児童ら

10/20

## 民話の語り部 横山さんが榊小学校でお話会

民話の語り部として全国行脚をしている横山幸子さん（福島県伊達市）が10月20日、榊小学校を訪れ、児童や地元老人会のお年寄りら約70人にお話を開きました。

披露されたのは、1枚の画用紙を使って望遠鏡や山をつくり、子どもたちへ問いかけをしながら即興で話をつくる『紙飛行機』の話、ありがとうという感謝の心の大切さを話した『えびす様と貧乏神』など5話。

横山さんの見事な話術に引き込まれ、会場にいるすべての人が聞き入っていました。

語らいを終えた横山さんは「榊小の児童は、すばらしい集中力がある」と褒め「思わず時間を延長してしまいました」と話されていました。

横山さんは、77歳。語り部として30周年となる80歳までに全都道府県での公演を達成しようとして、まだ訪れていない18県を回っています。

10/31

## 本別町からの行政研修職員 多田真喜子さんが10月末で研修終了 市民のみなさんへお礼のメッセージ

8月よりお世話になり、早いもので3ヶ月が過ぎてしまいました。その間、多くの行事に参加させて頂き、多くの人に出逢う事が出来ました。市長のふれあい行政出前講座では皆さんの熱い想いに触れ、お祭ではたくさんの子どもの笑顔に出逢い、立江煙火保存会の皆さんには花火の作り方から打上げまで携わらせていただき、文化継承を肌で感じる事が出来ました。

小松島市は目の前に海（青）があり、振り向けば山（緑）、見



目録を読みあげる 田坂営業部長（左）

## 善意の寄付

四国電力株式会社徳島支店が10月20日、本市に街路灯12基を寄贈されました。

同支店の田坂精一郎営業部長ら3人の社員が稲田市長を訪問。田坂部長が「従来の街路灯より高効率のものに交換し、明るいまちづくりのために贈らせていただきます」と、稲田市長に目録を手渡されました。



本別町職員 多田真喜子さん

上げれば熱い太陽（橙）と3拍子そろった自然に囲まれ、そして町のあらゆるところにたぬきの像・・・自然と文化に囲まれた小松島市はとても素晴らしい町です。これからも市民の皆さんの元気と笑顔で小松島市を支えていっていただきたいと願うばかりです。

今後は、小松島市と本別町の友好都市交流の輪が、ますます大きく、絆の強いものとなるよう橋渡し役になりたいと思っています。

3ヶ月という短い期間でしたが、市民の皆様ありがとうございました。北海道にお越しの際は、ぜひとも『豆のまち本別町』へお立ち寄りください。